

## 先導的産業技術創出事業 事後評価について

平成23年度に採択され、平成26年3月末までに終了した計16件の当事業研究テーマについて事後評価を実施した。

### 1. 評価の結果

評価	件数
極めて優れている	1 テーマ
優れている	5 テーマ
概ね妥当である	10 テーマ
妥当とは言えない	0 テーマ

### 2. 評価対象の研究テーマと評価結果

評価対象となった研究テーマと評価結果は、(別紙)のとおり。

### 3. 評価の方法

#### (1) 評価の手順

以下の書類に基づき、1研究テーマあたり複数の評価委員による書面評価を行った。

- ・ 研究成果報告書（研究代表者が作成した最終版）
- ・ 研究開発提案書（研究代表者が作成した応募時の提案書）
- ・ 補足事項説明資料（事後評価実施にあたり研究代表者が任意で提出した補足資料）

#### (2) 評点の基準

評点は以下のA～Dの4段階とした。

A: 極めて優れている B: 優れている C: 概ね妥当である D: 妥当とは言えない

#### (3) 評価項目と視点

評価項目	視点
1) 目標の達成度	・成果は目標値をクリアしているか。 ・全体としての目標達成度はどの程度か。
2) 成果の意義・波及効果	・成果には新規性・独創性・革新性があるか。 ・成果は、世界的に見てどの程度の水準にあるか。 ・成果は、新たな技術領域を開拓することにつながるか。 ・投入された予算に見合った成果が得られているか。 ・成果は関連分野への技術的波及効果及び経済的波及効果を期待できるものか。 ・研究の実施自体が当該分野の研究開発を促進するなどの波及効果を生じているか。
3) 特許・成果発表	・特許等(特許、著作権等)は適切に出願されているか。 ・外国での積極的活用が想定される場合、外国の特許を取得するための国際出願が適切にされているか。 ・論文発表の質や量は十分か。

4) 成果の実用化可能性	・産業技術として実用化・事業化に結びつく可能性があるか。 ・実用化に向けたアプローチ(企業連携等)は行われているか。
5) 総合評価	上記1)～4)の評価項目を踏まえての総合的な評価

#### (4) 評価

5) 総合評価について、A=3、B=2、C=1、D=0と数値に換算して委員の評点の平均を算出し、各テーマの評価点とした。この評価点に基づき、以下の4段階の評価結果を決定した。

評価点	評価
2.50～3.00	極めて優れている
1.50～2.49	優れている
0.50～1.49	概ね妥当である
0.00～0.49	妥当とは言えない

#### 4. 評価委員の名簿

氏名	機関名(評価時)	役職(評価時)
梅村 敏夫	株式会社 エムテック	取締役業務統括部長
大谷 繁	国立大学法人 東京大学	特任研究員
大橋 直樹	独立行政法人 物質・材料研究機構	部門長
大和田 秀二	学校法人 早稲田大学	教授
緒方 順一	株式会社 国際協力銀行	技術顧問
木口 浩史	セイコーエプソン 株式会社	部長
北嶋 潤一	川崎重工業 株式会社	上席研究員
北野 邦尋	北海道科学技術総合振興センター	チーフ・コーディネータ
黒田 千秋	国立大学法人 東京工業大学	特命教授
後藤 雅宏	国立大学法人 九州大学	教授
笹木 圭子	国立大学法人 九州大学	教授
塩田 郁雄	株式会社 テラヘルツ研究所	顧問
白井 裕三	一般財団法人 電力中央研究所	領域リーダー
白川 善幸	学校法人 同志社大学	教授
種田 大介	日揮 株式会社	主任研究員
徳下 善孝	電源開発 株式会社	シニアエキスパート
中村 孝子	独立行政法人 産業技術総合研究所	主任研究員
中村 恒明	東京ガス 株式会社	部長
波多野 睦子	国立大学法人東京工業大学	教授
藤田 豊久	国立大学法人 東京大学	センター長
宮坂 力	学校法人 桐蔭横浜大学	教授
矢加部 久孝	東京ガス 株式会社	所長
横谷 洋一郎	パナソニック 株式会社	主幹

(敬称略、順不同)

No.	技術分野	プロジェクト ID	研究テーマ名	所属機関名(評価時)	研究代表者
1	創エネルギー	11B01010c	イオン液体を用いた常温作動ナトリウム-硫黄電池の研究開発	国立大学法人横浜国立大学	獨古 薫
2	創エネルギー	11B01015c	フィルム型エネルギーストレージデバイスへの応用を指向した二酸化炭素/エポキシド共重合型固体高分子電解質の開発	国立大学法人東京農工大学	富永 洋一
3	創エネルギー	11B02008c	明確なプロトン輸送チャンネルを有する燃料電池用スルホン化炭化水素系高分子電解質膜の開発	国立大学法人山形大学	東原 知哉
4	創エネルギー	11B02017c	テーラーメイドセラミックスナノクリスタルを用いた次世代固体酸化物形燃料電池	国立大学法人大阪大学	大原 智
5	創エネルギー	11B04013c	超低コスト製造プロセス開発に向けたレアメタルフリー無機化合物薄膜太陽電池の非真空作製法に関する研究	国立大学法人大阪大学	池田 茂
6	省エネルギー	11B06003d	次世代パワー集積回路の実現に向けた低抵抗Pチャネル型 GaN 素子の開発	独立行政法人産業技術総合研究所	中島 昭
7	省エネルギー	11B06029d	超高効率1次元量子ナノワイヤー熱電変換素子の開発	国立大学法人埼玉大学	長谷川 靖洋
8	省エネルギー	11B07003d	光通信波長帯面発光半導体レーザの偏光双安定特性を用いる全光シフトレジスタ型メモリの集積構造モジュールの実現	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学	片山 健夫
9	省エネルギー	11B07010d	スピン波を用いた不揮発性スイッチ素子の開発	国立大学法人東北大学	水上 成美
10	環境負荷低減プロセス	11B11010d	木質細胞ヒエラルキー界面をセミソリッド化する非平衡塑性加工技術の開発と自動車用木材・プラスチック複合材料への展開	独立行政法人産業技術総合研究所	三木 恒久
11	環境負荷低減プロセス	11B11016d	オール溶液、オール室温で形成可能な有機デバイス印刷プロセスの開発	独立行政法人物質・材料研究機構	三成 剛生
12	環境負荷低減プロセス	11B11032c	卑金属ナノクラスター触媒を用いたファインケミカル合成技術及び非白金系燃料電池の開発	国立大学法人北海道大学	清水 研一
13	環境負荷低減プロセス	11B12005d	電氣的酵素反応駆動による高効率な物質生産技術の開発	独立行政法人産業技術総合研究所	三重 安弘
14	環境負荷低減プロセス	11B12009d	遺伝子工学およびバイオプロセス工学の応用による微細化バクテリアセルロースの大量生産と微細ネットワーク構造を利用した新規表示デバイスの開発	国立大学法人北海道大学	田島 健次
15	環境負荷低減プロセス	11B13011d	粉体プロセスを駆使した新規ゼオライトナノ粒子製造プロセスの開発と有害カチオン回収を目的とした高速イオン交換材への応用	国立大学法人東京大学	脇原 徹

16	資源有効 利用	11B16001d	新規配向制御による単結晶級性能をもつ多結晶圧電 セラミックスの開発	国立大学法人長岡技術 科学大学	田中 諭
----	------------	-----------	--------------------------------------	--------------------	------